

登園許可証明書

児童氏名 _____

下記の疾病で令和 年 月 日から療養中でしたが現在軽快し、他の児童への感染のおそれはないと思われますので、令和 年 月 日から登園してよいことを証明します。

記

病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
1 インフルエンザ (様疾患)	1～2日	感染後約10日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻カタル、咽頭痛、咳	発症から5日を経過し、かつ解熱後3日を経過した後
2 百日咳	6～15日	感染後約3週	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失したとき
3 はしか (麻疹)	10～12日	発疹出現の前後4～5日	上気道のカタル、発熱、粘膜疹コプリック斑	発疹に伴う熱が下がった後3日を経過し元気が良いとき
4 おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	14～24日	明らかな症状を示す7日前からその後9日続く	発熱、耳下腺、舌下線、顎下線の腫脹及び疼痛	腫れが発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好となった後
5 三日はしか (風疹)	14～21日	発疹出現の前後7日間	種々の発疹、軽熱、リンパ腺腫大	発疹が消失したとき
6 水ぼうそう (水痘)	11～20日	水疱発現前2～後6日	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状→水疱→顆粒状痂皮	すべての発疹が痂皮(かさぶた)になったとき
7 咽頭結膜炎(プール熱 アデノウイルス)	5～6日	潜伏期後半～発症後約5日間	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後、2日を経過してから
8 流行性角結膜炎	1週間以上	発病後約2週間	軽熱、頭痛、全身倦怠、結膜炎の炎症、眼瞼浮腫、目やに	治癒するまで
9 急性出血性結膜炎	1～2日	発病後約4日	流涙、結膜充血、眼瞼浮腫、滲出液	治癒するまで

※下記の病気に関しましては、出席停止ではございませんが、症状により保育が困難なケースもございますので、医師の診断をお受けいただきますようお願い致します。

- ヘルパンギーナ
- りんご病 (伝染性紅斑)
- 乳児嘔吐下痢症 (ロタウイルスによるもの)
- マイコプラズマ肺炎
- ヘルペス性菌内口内炎 (単純ヘルペス感染症)
- 水いぼ (伝染性軟属腫)
- RSウイルス
- 手足口病
- 溶連菌感染症
- 感染性胃腸炎 (小型球形ウイルス・SRSV)
- 突発性発疹
- とびひ (伝染性濃痂疹・皮膚化膿症)
- ヒトメタニューモウイルス

【登園後の注意事項】

令和 年 月 日

医療機関

医師

印